

製品名: Wee 2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19894

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 60kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | WEE2 |
| 別名 | WEE2; WEE1B; Wee1-like protein kinase 2; Wee1-like protein kinase 1B; Wee1B kinase |
| 遺伝子 ID | 494551.0 |
| SwissProt ID | P0C1S8 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト WEE2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200 |

背景

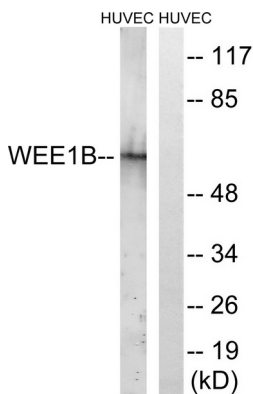
触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。機能: CDC2 をリン酸化して阻害する。有糸分裂 (G2 から M 期遷移) 開始の負の調節因子として作用する可能性がある。PTM: リン酸化される。類似性: タンパク質キナー

ゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。WEE1 サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異性: 精巣で発現します。触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。機能: CDC2 をリン酸化して阻害する。有糸分裂開始 (G2 期から M 期への移行) の負の調節因子として作用する可能性がある。PTM: リン酸化。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。WEE1 サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 精巣で発現する。

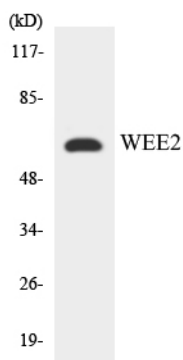
研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M_DNA;

画像データ



WEE2 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



WEE2 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。